

愛ちゃん ゆく! 第37話 議会質問ごっこ

— 県議体験記 —

私の質問日に学校が休みだったので、長女(高1)を議会に誘ってみたら、「行ってみたい!」ということで、議会質問の傍聴に来てくれました。

後ろの傍聴席に娘が座っているのを感じながら質問するのは、新鮮でしたが、質問の途中で娘が議場にきていることに触れると、知事や議員が一斉に後ろを振り向かれていました。

終わってから「けっこう言葉が難しかったでしょ?」と聞くと、意外に「面白かったよ」と喜んでおり、「お母さん、かっこよかったよ」とも。

それからしばらくは、家でも「23番、大塚愛君! 再質問しますか?」と、議長や私の真似をして遊んでいました。



娘と母と傍聴席にて。12月には高校生議会も開催されました。議会傍聴はお気軽に。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第37号]
発行:2026年1月(2025年11月議会報告)

最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808



大塚愛

県政レポート(2026年1月発行) [第37号]



いっぽ通信

P.02-03 気候変動の影響が迫るいま

P.01 危うさを感じる日本に、寛容さと暮らしに根差した政策を

P.02-03 アユの産卵場整備/小児がんの支援の現場

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2025年10月~12月)

新春のお慶びを申し上げます。

年の初めにいつも心に願うのは世界の平和ですが、この数年はウクライナやガザの戦争が続き、日中関係の悪化やベネズエラ侵攻など、残念ながら分断や武力による混乱が起こっています。

連続テレビ小説「ばけけけ」の主題歌のように、「日に日に世界が悪くなる〜、気のせいか、そうじゃない〜」とい

う歌詞をつい口ずさみたくありませんが、平和への思いに切実さが募ります。

昨年発足した高市内閣は、初の女性総理ということで期待感も高いようですが、彼女が自民党総裁に決まった途端に防衛産業や原発関係の株が上がったのは印象的で、その推進力は危うさをあわせ持っているような気がしています。

日本で310万人の方が命を落とした第二次世界大戦から80年。

今の日本は、むやみに戦争に向かっていったあの頃と似ているという指摘もあります。

相手を威嚇する勇ましい言葉や、人



女性差別撤廃条約の実現が進むよう陳情活動をされた皆さまと議長・副議長との懇談に同席。11月議会では継続審査になりましたが、いち早く採択できることを望みます。

の命を奪う兵器を造ることよりも、他者を尊重できる寛容さや、暮らしと地域に根差した産業や福祉を進める社会であってほしいと思います。

3月には、東日本大震災から15年を迎えます。一時はすべて止まっていた原発が、各地で再稼働しつつあります。その代わりとなる持続可能な再エネと省エネの対策を進めていけるよう、ここ岡山で出来ることを進めていければと思います。



お正月にいつもの公園で記念撮影。長男は20歳。長女は16歳。次女は11歳。仲よく遊ぶ子どもたちの存在に元気をもらっています。

日々のうごき

2025年10月~12月

- 10.1 御産産産裁判傍聴@岡山地裁
- 10.3 9月議会閉会
- 10.4 江田弘良氏風景写真展、河原邸お月見会@御津
- 10.5 わっしょいわんさカラジオ祭@吉備高原
- 10.6 香書パネル展設置@コットン古都夢
- 10.10 みつかフェ@岡山御津高校
- 10.11 福島原発おかも訴訟原告団会議
- 10.12 秋祭り@建部町吉田・七社八幡宮
- 10.13 女性差別撤廃条約選択議定書の勉強会
- 10.15 常任委員会(総務)、「緑と水の道」のお話@絵岡町
- 10.16 NPOもみの木定例会、映画「播さぶられる正義」
- 10.17 カニ漁の見学@旭川南部漁協、稲刈り@竹枝小
- 10.18 操山通信制高校生によるヘイトスピーチ研究の報告会
- 10.19 若者の性の健康シンポジウム@ゆいネット協議会
- 10.20 おかやま移動ネット総会@新見、「虹とみどり」全国研修集会実行委員会
- 10.21 たけべ家おこしプロジェクト理事会、旭川ダム発電所視察、DV防止サポートシステムをつなぐ会
- 10.22 消防防災航空センター視察
- 10.25 竹枝小学校運動会、パブリック友の会&のつとい、みつかフェ花火大会
- 10.26 大和地区文化祭@吉備中央町
- 10.27 アユの産卵場整備@旭川

- 10.28~29 子ども応援・教育推進特別委員会県外調査
- 10.31 NPO法人Attane訪問
- 11.1 納地地区文化祭@吉備中央町、御津しまいフェスタ、ジャポニズム音楽博覧会に出演@建部
- 11.2 かいぼり調査@建部旭川、「Silent Fallout」上映会@さよなら原発1000万人アクション
- 11.3 吉備高原文化祭ステージ
- 11.5 みつかフェ@御津高校、岡山市PTA会長会研修
- 11.6 六甲ウイメンズハウス見学、シェルターネット会議online
- 11.8 行政文書を読む会@福祉オンズおかやま
- 11.9 おかやまマラソン
- 11.10 「緑と水の道」会議@絵岡町、影法師コンサート出演@岡山禁酒会館
- 11.13 岡山幻の日本酒を百年飲む会
- 11.14 常任委員会、水彩連盟岡山支部展、岡山刻字展
- 11.15 横井篤文氏講演会@ICOI15周年記念大会「高知パルプ生コン事件」@燦光群、イェナプラン教育の勉強会@竹枝を思う会
- 11.17 DV防止啓発パネル展@岡山市役所、福祉教育セミナー@県社協
- 11.18 みどり岡山会議
- 11.19 常任委員会、音楽発表会&研修@竹枝小
- 11.20 特別委員会(子ども応援・教育推進)
- 11.21 SmartEnergyWeek関西@京都
- 11.22 手話歌&建部町文化祭、高校生が語る「福島のいま」@京山公民館
- 11.23 たけべ部出店&たけべマルシェ
- 11.25 くだもの議員連盟視察@美咲町ブドウ園、県政市政おはなし会@勤労

- 者福祉センター
- 11.26 金剛山歌劇団公演@ハレノフ
- 11.27 11月議会開会、女性差別撤廃条約の懇談、エコアート展
- 11.28 人事システムのお話@カオナビonline
- 11.29 竹小フェスティバル&150周年記念式典@竹枝小
- 12.2 代表質問(高橋議員登壇)、学校建築脱炭素研究会シンポジウムonline
- 12.3 たけべ中学生だっぴ@建部中
- 12.5~12 一般質問
- 12.6 男女共同参画研修@岡山中央病院
- 12.7 学生福祉国会@岡山きょうだいい
- 12.8 大塚愛、映画「WHO」@シネまる結び
- 12.9 香書パネル展設置@玉野市役所
- 12.11 一般質問に登壇、交通議員連盟懇談、フラワーデモ@エキチカ広場
- 12.13 おかざり作り@B&G建部、菅原直樹さん講演会
- 12.14 みつ健康マラソン(5km走)
- 12.15 岡山県高校生議会、3.11への祈り実行委員会
- 12.16 特別委員会
- 12.17 常任委員会、個人懇談@一宮高
- 12.18 映画「ネタニヤフ調書」、KHJ岡山さびの会
- 12.19 11月議会閉会、がん対策議員連盟視察@岡山医大
- 12.20 加茂川ホリデイフォレスト@吉備中央町
- 12.25 夢育・PBLフォーラム@県教委
- 12.26 「たんぽぽネットワーク」県との懇談会
- 12.27 手話講座@建部

11月議会で取り上げたことから 再エネや省エネの対策を進める



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

気候変動について

Q. 「地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘が鳴らされた2023年よりも、今年の7月はさらに1度以上高く、猛暑も長く続きました。お米の白濁化など農業や漁業にはいろんな影響が出ており、ゲリラ豪雨が毎年各地で起こるなど、気候変動が私たちの生活に迫っていると感じます。知事は気候変動による影響をどのように受け止めていますか。

知事 異常気象が毎年のように発生し、生態系や農林水産物、人の健康への影響など、気候変動がもたらす脅威は深刻さを増していると感じている。県民一人ひとりの意識変容や事業者の着実な取り組みが大切であり、脱炭素社会の実現に向けて対策を進めていきたい。

Q. 2030年度までに、県の設置可能な建築物の50%以上に太陽光発電設備の設置を目指していますが、公共建築物766施設のうち、どのくらいが設置可能ですか。

環境文化部長 約40施設に設置可能と見込んでいて、今年度中に設置に向けた具体的なスケジュールをつくる。また、今後の薄

型・軽量化の技術革新をふまえて、さらなる設置も検討していきたい。

Q. この度、学校断熱ワークショップが日本デザイン振興会「グッドデザイン賞2025」で受賞されました。県内では、岡山市や津山市の5校で実施されましたが、先進的に取り組まれた皆さまの熱意が評価され、嬉しい受賞となりました。学校断熱ワークショップは、建築の専門家やNPOの方と一緒に、生徒が教室の断熱改修工事を体験することができ、改修した教室では夏の暑さや冬の寒さが改善され、消費電力が3割減ったという事例もあります。今後、学校のZEB化や断熱改修についてはどのように取り組まれますか。

教育長 既存の建物は長寿命化工事にあわせて断熱改修をすることとしている。屋上からの熱損失が大きいため、最上階の天井を断熱化することが効果的だと考えているが、効果的な方法を研究していきたい。

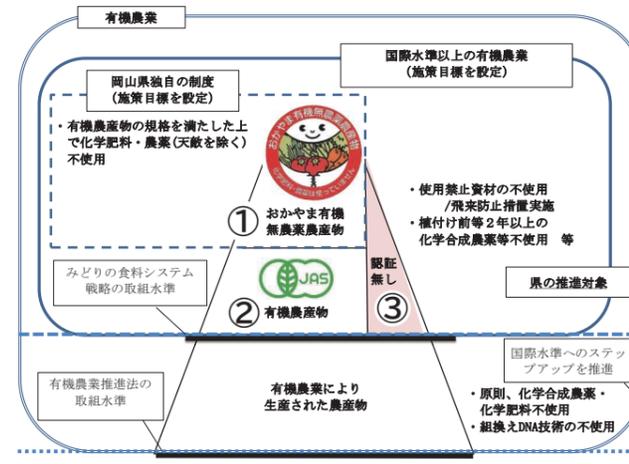
有機農業について

Q. 県は2030年度までに有機農業の取り組み面積を300haに拡大する計画で、これは10年間で有機農業の面積を2倍以上に

増やすという目標になります。有機農業は3つの分類があり、①おかやま有機無農薬農産物、②有機JAS、③認証を取っていないけれど、同じレベルで作っている農産物(右図)があります。それぞれの進捗は。

農林水産部長 ①は60ha、②は44ha、③は90haで、合計194ha。特に②と③はこの5年間で倍増している。目標達成に向けて、人材の確保や育成、技術指導による生産拡大、販路拡大など、市町村とも連携して、総合的に取り組んでいきたい。

Q. ネオニコチノイド系農薬は、カメムシなど昆虫の神経に作用する殺虫剤です。EUではミツバチの大量死が起こったことから使用が禁止されていますが、哺乳類の脳神経への影響が確認されたため子どもの脳の発達への影響を懸念する研究もあります。JAグループ茨城では、昨年より水田の空中散布に使うネオニコチノイド系農薬を代替



岡山県有機農業推進計画
岡山県は全国に先駆けて独自認証を設けて、有機農業を進めてきました。和気町と新庄村はオーガニックビレッジとして推進。



究極のプレミアムブランド
おかやま有機無農薬農産物



建部祭り@七社八幡宮

的価値を持っています。

しかし一方人口減少の進む中で、神輿や神楽の担い手が不足する状況も生じていて、今後の継続に課題を抱える地域も増えています。県はどのように取り組まれますか。

県民生活部長 市町村や関係機関と連携して、さまざまな集落活動を支援するために、イベントスタッフや神輿の担ぎ手など、個人や企業の外部人材を派遣する事業に取り組んでいる。

Q. 地域外や海外からも祭りに参加できる体験型コンテンツを設けるなど、観光面から後押しをしてはどうですか。

産業労働部長 地域ならではの魅力的な観光資源であるため、白石踊りの鑑賞体験ツアーをはじめ海外旅行会社によるツアー商品づくりの支援をしている。一方で、地元の受け入れ体制などの課題もあるため、国が実施している実証調査を参考に、市町村と連携して検討していきたい。

祭りや伝統行事について

Q. 県内には加茂大祭、備中神楽、西大寺会陽など、さまざまな祭りや伝統行事があります。私が住む建部でも秋祭りでは神楽が行われますが、子どもたちも幼い頃から練習し、色鮮やかで勇壮な獅子舞や棒使いが、神社や家々のお庭で奉納されます。こうして多世代で交わる祭りは、中山間地域の賑わいや治安にも寄与していて、歴史と風土から生まれた唯一無二の芸術性を備えた文化



「建部の秋祭り」
YouTube

薬品(アミスタートレボン)に切り替えていて、JA水戸の園部理事長は、「子どもの発達や大人の神経系の病気を引き起こすなど関連性が疑われているネオニコチノイド系の農薬は使わないようにしている」と言われています。県内では水田の空中散布で広く使用されていますが、環境や子どもたちへの影響を防ぐために、使用低減に向けた対策を進める必要があるのでは。

農林水産部長 空中散布を行う際には周辺の学校など公共施設、住民、養蜂家などに実施予定などを連絡するなど、周辺環境への配慮を指導している。今後、国の再評価の動向を注視し、茨城のお話をふまえて農業団体と意見交換していきたい。

おもな「活動記録」から

アユの産卵場の整備

@旭川(10月27日)

旭川のアユは、後楽園の少し上流に卵を産みにやってきます。そこでアユが卵を産みやすいように川底を整えようと、旭川に入って、石を動かしたり、ならしたりする作業をしました。これは6年前から旭川南部漁業協同組合が始めた活動で、岡大の学生さんと県の職員も毎年協力し

ていて、今年も約30人が参加しました。県の水産研究所がつけた水中カメラでは、整備した箇所に



アユが多く来ているのが写っていたり、上流では天然のアユが増えていたり、よい兆しが見られているそうです。魚や川の話聞くのはとても興味深く、これからも旭川を守る活動に関わりたいと思います。

苔がついた石を取り出し、鍬で耕して川底を整え、最後にカワウ対策のテグスを張りました。

ガン対策推進議連の視察

@岡山大学病院(12月19日)

ガンの治療や患者さんの支援について、県議会の有志で岡山大学病院に伺い、お話を聞きました。小児がんの子どもの同じ病気の子と会える機会が

少なく、孤立しがちですが、その課題を解決したいと、医師の長谷井先生はご自分でメタバース空間を制作。VRカメラをつける



と、おしゃれな部屋の中で、他県で治療している子どもに出会って交流できるという素晴らしいシステムを運営されていました。また、高校生の患者さんがオンライン授業で単位取得できるための制度がまだ不十分なこともお聞きし、患者さんに寄り添う仕組みがもっと必要だと感じました。

病を抱えた子どもたちが仲間とつながることができるオンライン空間は、とてもおしゃれで、医師の長谷井先生が自ら作られたということにビックリしました。